

全国の情報は国立感染症研究所感染症疫学センターホームページにてご覧ください。 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

#### 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

#### インフルエンザ

定点あたり患者数は今週 **1.19人**(先週 0.46人) と増加し、流行開始の目安とされる1人を超えました。地域的には、県下17保健所管内中、姫路市、龍野、赤穂、福崎、豊岡、朝来、丹波の7保健所管内で定点あたり患者数が1人以上となっています。

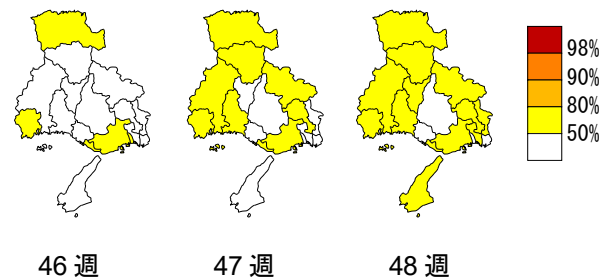
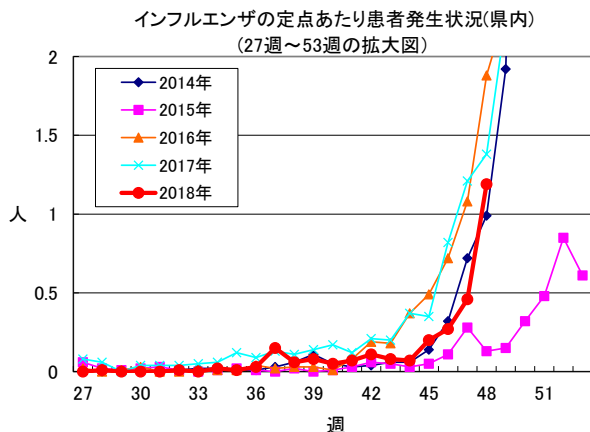
直近の5週間に県内の定点医療機関から報告された患者436人の年齢分布では、5~9歳34%、0~4歳17%、10~14歳15%の順で、15歳未満が全体の66%を占めています。

インフルエンザの入院患者を対象とするサーベイランスでは、今週3人(先週2人)の報告がありました。今シーズンの累計は16人となり、うち2人が人工呼吸器、頭部CT検査等を利用しています。患者の年齢分布は1~9歳5人、70歳代4人、80歳以上3人の順で多くなっています。

臨時休業の施設別発生状況では、今週6件(先週3件)の報告がありました。内訳は学年閉鎖1件、学級閉鎖5件で、阪神南、阪神北、東播磨、中播磨、但馬及び神戸市の小学校から報告されています。

当研究所では今シーズン、県内の患者から **AH1pdm09** 4件、**AH3亜型(A香港型)** 3件のインフルエンザウイルスを検出しています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



(1週間あたりの患者数が、各地域の過去5年間のデータの下からどれぐらいになるかを、50、80、90、98パーセンタイル値を基準に、色分けして表示しています。)

#### 定点あたり患者数の上位10位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	7.81	5.53	+2.28	6位	咽頭結膜熱	0.60	0.40	+0.20
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.93	1.44	+0.49		手足口病	0.60	0.57	+0.03
3位	流行性角結膜炎	1.34	0.86	+0.48	8位	水痘	0.49	0.36	+0.13
4位	インフルエンザ	1.19	0.46	+0.73	9位	伝染性紅斑	0.38	0.20	+0.18
5位	RSウイルス感染症	0.65	0.67	-0.02	10位	突発性発しん	0.36	0.28	+0.08

## 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。	
2 類感染症	結核 30人（神戸市15人、尼崎市2人、西宮市2人、明石市2人、加東保健所管内2人、豊岡保健所管内4人、洲本保健所管内3人）	
3 類感染症	報告はありません。	
4 類感染症	<p>つつが虫病 1人（神戸市；男性70歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染）</p> <p>レジオネラ症 3人（①神戸市；肺炎型；男性70歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：水系感染、②豊岡保健所管内；肺炎型；男性50歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明、③洲本保健所管内；肺炎型；女性70歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明）</p>	
5 類感染症	<p>カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 6人（①神戸市；女性70歳代；<i>Klebsiella pneumoniae</i>；感染地域：兵庫県；感染経路：以前からの保菌、②尼崎市；男性40歳代；<i>Klebsiella pneumoniae</i>；感染地域：兵庫県；感染経路：手術部位感染、③尼崎市；男性40歳代；<i>Enterobacter cloacae</i>；感染地域：兵庫県；感染経路：手術部位感染、④尼崎市；女性80歳代；<i>Citrobacter freundii</i>；感染地域：兵庫県；感染経路：以前からの保菌、⑤明石市；男性70歳代；<i>Enterobacter aerogenes</i>；感染地域：兵庫県；感染経路：以前からの保菌、⑥赤穂保健所管内；男性70歳代；<i>Raoultella ornithinolytica</i>；感染地域：兵庫県；感染原因：以前からの保菌）</p> <p>劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人（姫路市；女性90歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明）</p> <p>侵襲性インフルエンザ菌感染症 1人（神戸市；女性60歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明）</p> <p>侵襲性肺炎球菌感染症 1人（加古川保健所管内；女性80歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明）</p> <p>水痘（入院例） 1人（姫路市；検査診断例；女性60歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：接触感染；ワクチン接種歴：不明）</p> <p>梅毒 5人（①尼崎市；早期顕症梅毒Ⅱ期；男性20歳代；感染地域：不明；感染経路：同性間性的接触、②西宮市；無症状病原体保有者；男性40歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：同性間性的接触、③伊丹保健所管内；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性40歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：性的接触、④朝来保健所管内；無症状病原体保有者；男性40歳代；感染地域：不明；感染経路：不明、⑤洲本保健所管内；無症状病原体保有者；女性80歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明）</p> <p>百日咳 9人（①神戸市；男性7歳；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：4回有、②神戸市；男性0歳；感染地域：兵庫県；感染経路：家族内感染；ワクチン接種歴：無、③尼崎市；女性10歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：4回有、④芦屋保健所管内；女性40歳代；感染地域：不明；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明、⑤加古川保健所管内；男性20歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明、⑥加古川保健所管内；女性50歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明、⑦加古川保健所管内；男性30歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明、⑧加古川保健所管内；女性40歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明、⑨赤穂保健所管内；男性8歳、感染地域：兵庫県；感染経路：学校；ワクチン接種歴：4回有）</p> <p>風しん 2人（①神戸市；検査診断例；男性1歳；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：1回有、②明石市；検査診断例；男性40歳代；感染地域：不明；感染経路：不明；ワクチン接種歴：1回有）</p>	
2018年第47週までに診断されたものの報告遅れ	結核 3人 侵襲性肺炎球菌感染症 3人	梅毒 4人 百日咳 4人

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

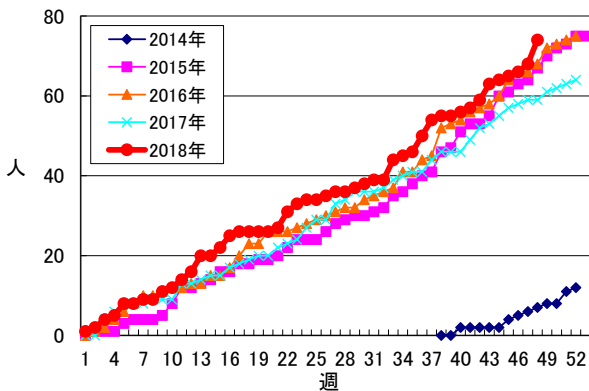
今週 **6人** の報告があり、今年の累積患者数は **74人** となりました。その内訳は、男性 **40人**、女性 **34人** で、**60歳以上** が全体の **89%** を占めています。

菌種別では、*Escherichia coli* と *Enterobacter aerogenes* が各 **19件**、*Klebsiella pneumoniae* が **14件**、*Enterobacter cloacae* が **13件** の順となっています。

感染経路別では、以前からの保菌が **24件**、医療器具関連感染が **11件**、手術部位感染が **11件** 報告されています。

施設や病院での感染を防ぐために、手洗いの励行に加えて、ドアノブやベッド柵、水回りの環境などを介しての接触感染を防ぐことが重要になります。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の累積患者数(県内)



### 梅毒

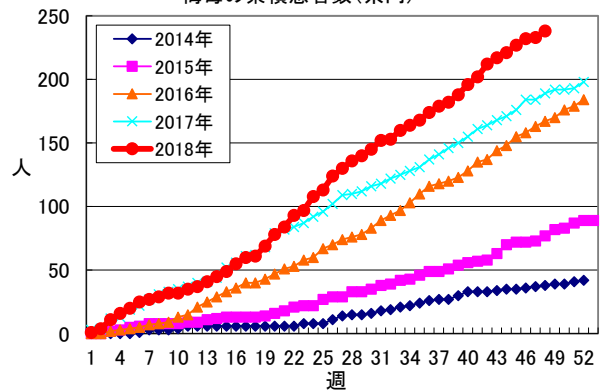
今週 **5人** の報告があり、今年の累積患者数は **238人** となり、昨年の年間患者数 **198人** を超えて増え続けています。

性別では、男性 **168人**、女性 **70人**、年齢階級別では、男女とも **20歳代** が最も多く、男性では **34%**、女性では **43%** を占めています。

病型別では、早期顕症梅毒の **I期** が **100人**、**II期** が **79人**、晩期顕症梅毒が **8人**、無症状病原体保有者が **51人** となっています。

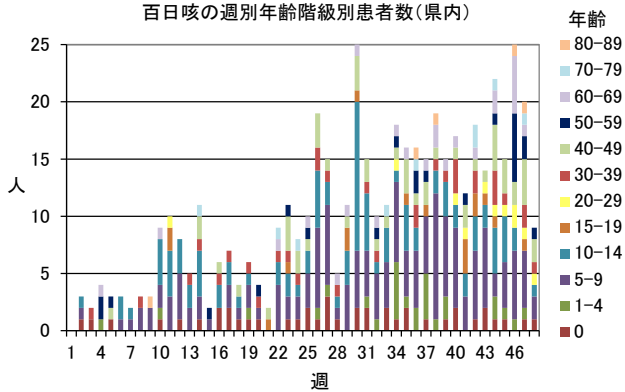
感染原因は、性的接触 **214人** (異性間 **174人**、同性間 **10人**、不明 **30人**)、原因不明 **24人** で、推定感染地域は国内が **215人**、国外が **4人**、不明が **19人** でした。

梅毒の累積患者数(県内)



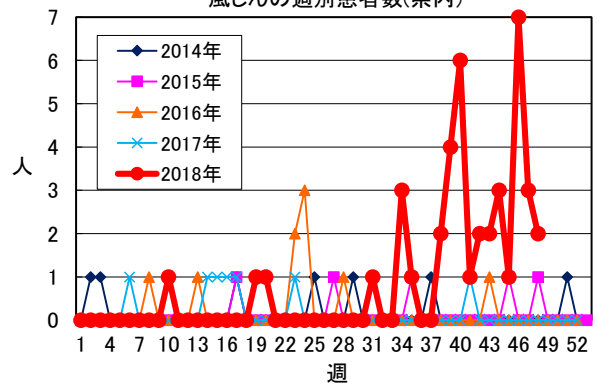
### 目で見える動向 (県内)

百日咳の週別年齢階級別患者数(県内)

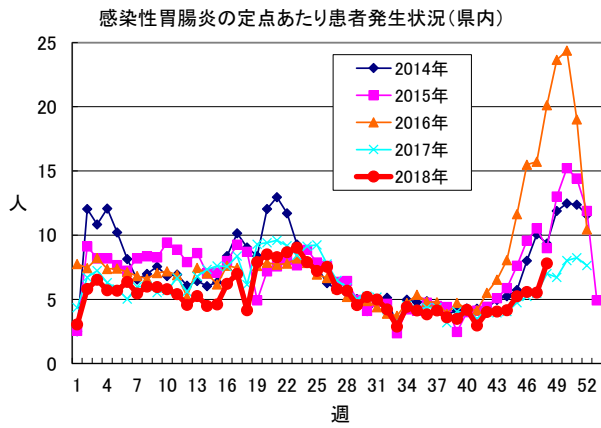


今週 **9人** の報告があり、今年の累積患者数は **497人** となりました。

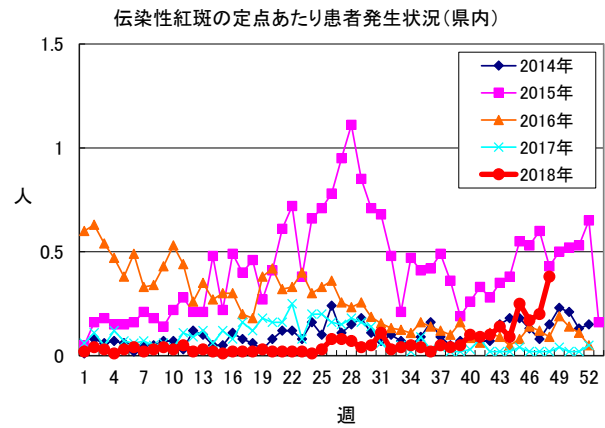
風しんの週別患者数(県内)



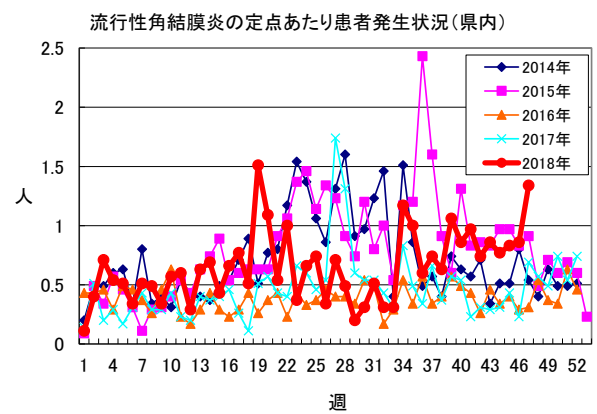
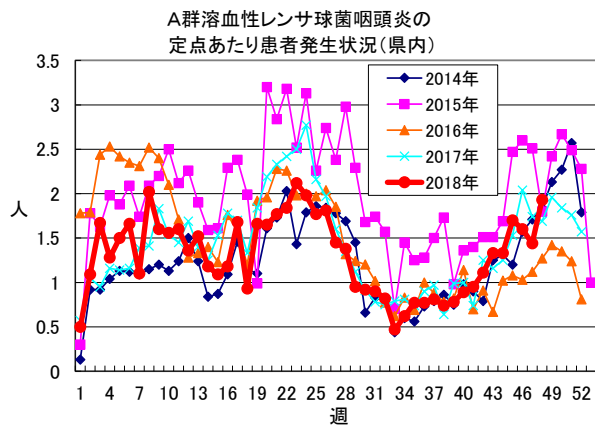
今週 **2人** の報告があり、今年の累積患者数は **41人** となりました。



福崎保健所管内で、定点あたり患者数が警報レベル開始基準値である 20 人以上となっています。施設・学校における感染症集団発生状況では、今週 1 件（先週 1 件）の集団発生が報告されています。



朝来保健所管内で、定点あたり患者数が警報レベル開始基準値である 2 人となっています。



この週報は兵庫県立健康科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。  
 また、<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> から国立感染症研究所感染症疫学センターの週報 (IDWR) がダウンロードできます。